

# 山の手コミュニティ

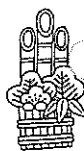
第7号 2011.1.20

発行者：山の手コミュニティ協議会

事務局  
〒956-0113 新潟市  
秋葉区矢代田35  
(ふれあい会館内)  
TEL 0250-38-3151  
発行人 伊藤 敏 秋  
編集 広 報 部

## 「山の手コミュニティ協議会」がめざす

### まちづくりについて



山の手コミュニティ協議会が目指すまちづくりの方向(基本目標)は「人がつながり、ともに支えあう、やさしいまち」です。具体的な取り組み(方針)として

①として「人がつながり交わるまちづくり」です。そのためには人が集う拠点づくりと交流のきっかけをつくる事です。「ふれあい公館」を山の手地区のまちづくりの拠点として各種行事を積極的に取り組み老若男女の交流のきっかけをめざします。②として「活力あるいきいきしたまちづくり」です。そのためには、山の手コミュニティ協会の人材を育成する事です。そしてイベント形から365日型の地域活動の基盤をつくる事です。③としては「健康で豊かなまちづくり」です。地域



新年あけまして  
おめでとうございます

会長 伊藤 敏 秋

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年は山の手コミュニティ協議会の各事業に多くの皆様から参加いただきました。これも皆様の熱い心と支えあう心の賜ものと感謝申し上げます。

二十三年度事業としては、地域が元気が出る事業、喜んでもらう事業はもちろんですが、反面地域の現状の中で早急に取り組みなければならぬ事業として、防災訓練計画があります。

近年、日本各地において様々な災害が発生しております。いつ起きるか分からない自然災害において、地域組織としてどう構え、どう行動して、地域の安全を確保するかが問われています。その為には、行政、民間機関との信頼関係をより強固にし、連携した上で、役割を確認する必要があると思

ます。人命を第一に、地域の被害を最小限に抑え止める事業です。もう一つは緊急情報キット配布事業です。少子化・高齢化による一人暮らしが増加しており、核家族化も進行しております。これが地域の現実です。

従来ならば、家族間で解決してきた問題を地域組織として受けとめ、いかに支えあえるか、地域力が試される時代になってきました。緊急時に情報を正確に伝える事により、人命救助に役立てる新事業です。

今年も役員一同、魅力ある地域造りに創意工夫し、地域課題を一步一歩解決できる力(地域力)を皆様と共に研鑽していききたいと思います。今後とも御指導、御協力をお願い申し上げます。

における健康づくりを推進するために医療機関からも協力をえながら定期的な健康チェックや健康づくりにかかわる各種の取り組みをする事です。④として「安全で安心な住み良いまちづくり」です。高齢者や一人暮らしや障害を持って居る人でも地域の支えあいで地元に住み続けられる、しくみづくりをみんなで創意工夫し、出来る事から取り組みをはじめます。現在山の手コミュニティ協議会として取り組んでいる事業は、毎月定期的に青色回転灯を取り付けた乗用車で防犯パトロールを実施しています。また小PTA、自治会役員、コミ協役員で「勝手に見守り隊」の腕章を着用しての防犯パトロールも行っています。その他に各自治会の要所に見守りベンチを設置しました。今、計画している取り組みとして山の手地区1480世帯すべてに「緊急冷蔵庫キット」の無料配布を考えています。\*緊急冷蔵庫キットの詳細な内容は4面に掲載しています。これらのまちづくりの目標を達成するには多くの人の協力が必要です。「できる人が、できる時に、できる事を」の合い言葉で地域のみなさんが何らかの形でコミュニティ協議会活動に参加していただければこれらのまちづくりを着実に進めて行くカギであります。「住んで良かった」「これから住みたい」といわれるような山の手地区のまちづくりのために、今後も「山の手コミュニティ協議会」にみなさんの変わらぬお力添えをお願いいたします。

事務局長 横山 義 男

# 議会の活動の一部を紹介します！



3) 1650名以上の参加



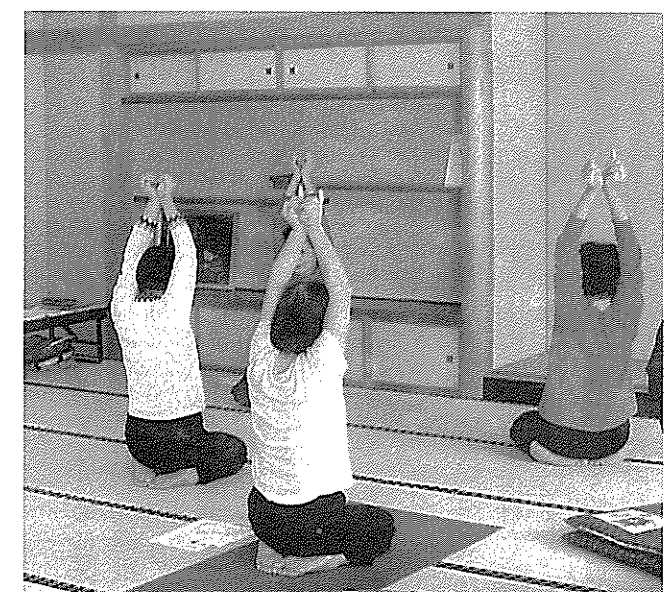
市政教室（10月1日）新潟中央消防署にて



林道不法投棄回収作業（11月16日）



矢代田駅前広場の花植え（11月20日）



免疫ヨーガ教室（10月14日）



小須戸中の生徒と合同で矢代田駅の花植え（5月12日）

# 平成22年度、山の手コミュニティ



正月玄関飾り寄せ植え講習会（12月19日）



ふれあい夏まつり（8月）



冬囲い講習会（11月20日）



ふれあい会館の花植え（11月20日）



ふれあい昼食会（10月15日）



レクリエーションダンス講習会（12月6日）

山の手地区を住みよいまちに、安心、安全なま

# 「安心カード」を冷蔵庫に保管

別名<冷蔵庫キット>とも呼ぶ



## 緊急情報キット（冷蔵庫保管）の 配布事業の取り組みについて

◇万が一の救急車要請時に迅速な活用◇  
◇今年度は鎌倉と天ヶ沢の全世帯を対象に◇



\*\*\*\*\*

緊急情報キット「安心カード」は、名前や生年月日、血液型、かかりつけの病院、緊急連絡先、持病や健康保険証の写しや診察券の写しなど、救急時に必要最小限の自分の情報を記入した用紙を、専用容器に入れて冷蔵庫に保管する。

☆救急車を要請した際に、迅速な医療情報の活用と緊急事態発見者から緊急連絡先への迅速な連絡に活用する目的で、山の手地区の全世帯に無料配布する。

☆保管場所をなんで冷蔵庫にしたか、かけつけた消防署の救急隊がすぐに探し出す必要があり、ほとんどの家が冷蔵庫は台所にあるので、緊急情報キットがどこにあるかすぐわかります。

☆緊急情報キットを冷蔵庫に保管している人は玄関の内側と冷蔵庫の扉の2ヶ所に必ずステッカー（きらりんちゃん）を貼ります。



10月12日 ふれあい会館で  
秋葉区長以下区役所全課長及び、秋葉消防署長と  
山の手コミ協役員との地区懇談会が開催されました

一、ふれあい会館の駐車場の舗装について

行事やイベントはじめ小学校の行事等、諸々の活動での駐車場の利用度を掲げて要望。

（駐車場内に私有地があり、困難とのことである。）

二、矢代田駅から鎌倉までの遊歩道の早期実現 について

（何年までに完成と言う約束はできないが、毎年、予算をつけて取り組んでいる。）

三、矢代田駅西口広場の道路に道路灯の設置について

（市としての実施は困難である。）  
四、危険な通学路の歩道の整備の  
早急な実施について

矢代田小学校の通学路は、秋葉区では類を見ない起伏や段差の多い地形で、ところによっては全く歩道のない通路もある。

（土地の買収等もあり、すぐに  
は困難である。）

五、小須戸地区第二体育館の早期  
使用禁止解除について  
（この体育館は、市の財産とし

て残っておらず、予算がつき次第解体する予定になっている。）

六、小須戸地区里山の歴史と自然  
を生かした取り組みについて

山の手地区の里山は太古の昔に海の底が盛り上がって出来た里山であり、現在でも海底火山の爆発でこの里山の誕生をうらづける証拠の枕状溶岩を見る事ができる場所があります。新津丘陵の一環として小須戸地区里山に財政面を含めた支援をお願いしたい。

（新津丘陵の一連の取り組みとして支援をして行きたい。）

### 編集後記

コミ協役員と地域の皆さんの協力で多くの行事が行なわれました。

今年度の各部の活動のようすを知っていただき、来年度も山の手コミ協、山の手地区四千三百余名の力を結集していけるように願って、新年号をお届けします。